

# 令和元年度 入門レベルのための日本語教室 報告書（概要）

## 1. 事業概要

### (1) 趣旨

市内の日本語教室で学ぶ学習者数は延べ 587 人（平成 31 年 4 月現在）で、この数は外国人市民数の 4%にとどまる。このため、外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして地域の日本語教室につながる必要があると考え、平成 25 年度より市主催で「入門レベルのための日本語教室」を実施し、学習を終えた外国人市民を地域の日本語教室につながる形で事業を実施している。

同時にこの場を市内で活動する日本語指導ボランティアが 1 対複数での日本語学習支援法を習得する研修の場とするとともに、ボランティアどうしの横のつながりやプロの日本語教師とボランティアのつながり、行政とボランティアの顔の見える関係づくりの場としても活用する。

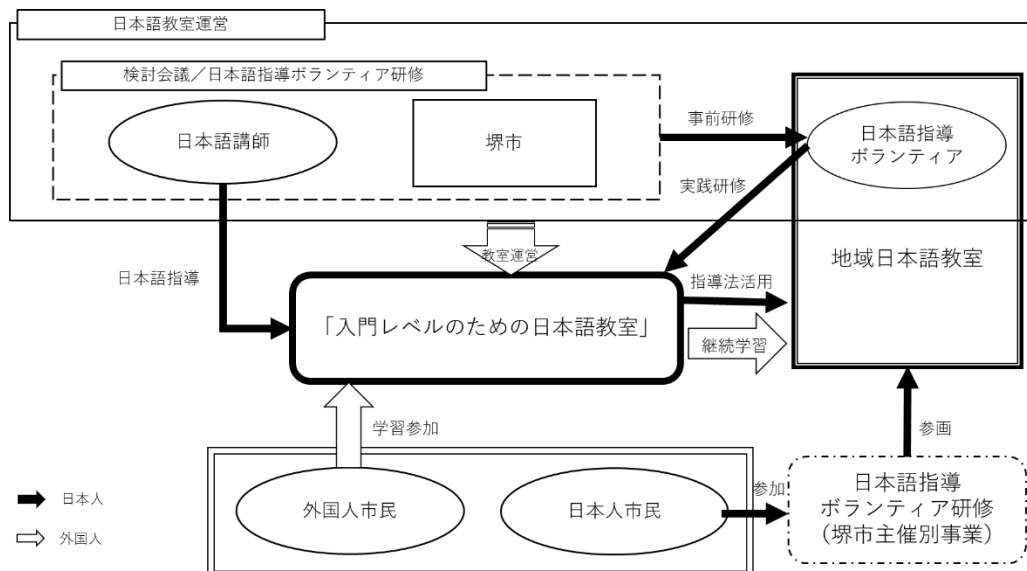
### (2) 実施スケジュール

検討会議を開催して昨年度事業の振り返り及び今年度事業の実施方法等について検討し、検討結果をもとに日本語教室及び日本語指導ボランティア研修を実施する。日本語指導ボランティア研修参加者（アシスタント活動者）の増加及び本教室の指導法の普及を目的にアシスタント募集に先駆けて、「日本語指導ボランティアスキルアップ研修」を実施する。すべての事業終了後に総括を行う。

また、同時に本事業で作成・使用している『つながる日本語』を地域日本語教室に普及すべく教材の体裁を整えるなどの作業を進める。

4 月	検討会議
7 月	指導アシスタント募集を兼ねた日本語指導ボランティアスキルアップ研修
8 月下旬	アシスタント事前研修（日本語指導ボランティア研修）
9 月～11 月	日本語教室、及びアシスタント実践研修（日本語指導ボランティア研修）
12 月	総括

### (3) 事業スキーム



## 2. 日本語教室について

### (1) 令和元年度実施実績

#### <日本語教室>

目的：①入門レベルの日本語能力の人が地域の人と人間関係を構築できるようになる。  
②入門レベルの日本語能力の人が地域社会に踏み出せるようになる。

開講日時：令和元年 9 月 6 日（金）～11 月 8 日（金）

毎週火曜・金曜（10 月 1・4・22・25 日を除く） 14:00～16:00（全 15 回）

授業内容：・自己表現のための日本語表現及びそれに伴う文法項目の習得  
・習得した日本語表現を活用した会話練習（実践）

- ・「駅での会話」「病院での会話」など特定の場面での会話練習

開講場所：堺市立国際交流プラザ 6F 大会議室

受講者数：22人  
 (ベトナム 12人、中国(台湾含む)4人、アメリカ 1人、インドネシア 1人、オーストラリア 1人、セルビア 1人、トルコ 1人、ニュージーランド 1人)

<その他行事>

イベント名	ゴミの出し方講習会	防災講習会	市内見学会
実施日時	10月4日(金)	10月25日(金)	11月15日(金)
参加者数	14人	17人	11人

### 3. 日本語指導ボランティア研修

#### (1) 令和元年度実施実績

目的：①入門レベルの学習者への話し方や接し方、学習支援の方法を学ぶ。

②マスターテキストアプローチによる指導や場面会話、対話型活動の方法を学び、1対複数での日本語学習支援法を習得する。

開講日時：<a. 事前研修>

令和元年8月20日(火)、令和元年8月27日(火) 14:00~16:00 (全2回)

<b. 実践研修~授業への参加~>

令和元年9月6日(金)~令和元年11月8日(金)

毎週火曜・金曜(10月1・4・22・25日を除く)のうち、指定された6日程度

(各人6回程度。各回7人程度。原則として、同一週の火曜日と金曜日は連続参加)

13:50~16:20(打ち合わせ・振り返りの時間を含む)

研修内容：・入門レベルの日本語学習者に対する話し方や接し方

・マスターテキストアプローチによる指導法

・場面会話及び対話型活動の進め方

開講場所：堺市立国際交流プラザ 大会議室

受講者数：15人(市内日本語教室等で活動している日本語指導ボランティア)

### 4. 成果と課題

#### (1) 日本語教室

22人が参加し、約80%の学習者が最後まで継続して学習した。また、そのほとんどが地域の日本語教室で学習を続けると回答した。外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして、地域につながるという目的を達成できたと考える。しかし、一方で参加者の多くが日本語学習経験のある人であり、全くの入門レベルの学習者は少なかった。本来の対象者である「日本語能力が入門レベルの外国人市民」の学習の需要を掘り起こすという点に関しては、まだ課題があると言える。また、課外授業は、「ゴミの出し方講習会」「防災講習会」「市内見学会」を実施した。講習会、市内見学会ともに、教室にかかわりのない人にも協力を得て実施できたことから、外国人市民がさまざまな知識を得るだけでなく、多くの人に地域に住む外国人市民の存在を知ってもらおう機会にもなったと考える。

#### (2) 日本語指導ボランティア研修

15人がアシスタントとして参加し、その多くからアシスタント活動を通してさまざまなことを学んだとの声があがった。日本語能力が入門レベルの学習者への接し方や1対複数の指導法などを学んでもらえたと考えている。しかし、一方でアシスタント参加者15人のうち未経験者が6人と、新たなアシスタント参加者は半数以下であった。アシスタント活動の場が実践研修の場であることから、未経験者の割合が増えることが望ましい。来年度は、後述の4.(3)にあるとおり、本事業で作成・使用している『つながる日本語』を地域日本語教室に普及すべく取り組みを進める予定である。教材の普及事業を進める中で地域日本語教室のボランティアにアシスタント活動について周知し、未経験者の増加につなげられるように検討したい。

#### (3) その他

本事業では、事業開始当初からマスターテキストアプローチを採用した教材『つながる日本語』を作成し、授業を実施している。多くのテキストで採用されている文法積み上げ式とは異なる手法だが、参加アシスタントから教材やその手法が、所属している日本語教室でも使えそうだと支持を得られるようになってきたことから、普及に向けて教材の体裁を整え、副教材及び手引きの作成を行った。次年度は、完成した教材をもって、本格的に地域日本語教室に広めていきたい。